

学校教育自己診断の結果と分析〔平成 25 年 12 月実施分〕

【学習指導等】

- ・本校の教育課程に関する項目について、生徒・保護者・教員ともに 80%以上の高い肯定率を維持しており、総合学科としての学校経営は軌道に乗っている。
- ・中期的目標「生徒にわかりやすい一貫した指導スタイルの確立」について、生徒の授業理解の肯定率が 62%であるが、授業満足度の肯定率は 43%である。これらは学年進行とともに高くなるため、生徒への指導効果が認められる。教員の授業改善努力への肯定率は 42%と低いため、より一層、授業改善のための取組みを進めなければならない。
- ・共生教育推進についての肯定率は生徒 72%、保護者 86%、教員 87%と高い肯定率を維持しており、共生推進教室設置校としての学校経営は軌道に乗っている。

【生徒指導等】

- ・生活指導に関する項目について、保護者 71%と高水準を維持しており、その姿勢は学校評議会でも高く評価されているが、生徒は昨年より 5%向上したが 42%と低い。また生徒会活動への関心についても肯定率が 24%と低い。生徒の自主性と自覚を促す努力が必要である。
- ・進路指導に関する項目については、生徒・保護者・教員ともに肯定率は高く、本校が一体となった指導や取組みは成功している。

【学校運営】

- ・研修・研究成果の共有の機会についての肯定率が 36%と低い。校内の教員研修等の活性化を図りたい。
- ・校長のリーダーシップについての肯定率 84%、教職員の意見の反映と会議等の有効性についての肯定率は概ね 75%と高い。引き続き校長のリーダーシップのもと、教職員の資質向上を図り、円滑な学校運営と教育力の向上をめざしたい。